

スポーツ文化ツーリズムアワード2021

【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞



(申請団体)

ひろさき芸術舞踊実行委員会

SHIROFES. 2019～踊れ、遊べ、弘前で！ 弘前城ダンス&パフォーマンスフェスティバル～



取組概要

SHIROFES.とは、弘前の重要な観光資源である弘前城本丸を舞台に、2016年より開催している世界最大級のダンス&パフォーマンス複合フェスティバル。地域伝統芸能である、津軽三味線、津軽笛、ねふた囃子のLIVE、全国大会強豪校とも言われる地元高校生書道部による書道パフォーマンス、世界最高峰のダンスの世界大会やエクストリーム界トップアスリートによるステージ、E-sportsコンテンツや地元アーティストによる音楽ライブ、鎧の着付け体験、ワークショップなど3日間に渡って開催。子供から大人まで健常者も障害者も国境や世代も越えて多くの人に楽しんでもらえる『津軽文化とダンス&カルチャーのクロスオーバー』を目指している。

評価ポイント

- 若い文化と弘前という伝統文化の融合というところが非常に面白い。また、情報の発信をオンライン中心で行っているというところが1つのモデルケースになる。
- 道具立てとしての文化とスポーツの両方の要素がある点を評価。

スポーツ文化ツーリズムアワード2021 【スポーツツーリズム賞】入賞



(申請団体)

さっぽろグローバルスポーツコミッション

ナイトクロカンinホワイトイルミネーション



取組概要

札幌市民に長きに渡って親しまれている“歩くスキー(クロスカントリースキー)体験”を、観光客にも楽しんでもらえるよう、ライトアップされたコースを滑るといった演出を行い、“札幌都心部で気軽に楽しめるスキーナイトコンテンツ”の実現を目指している。

既存のコンテンツに新たな視点を加えることで、新たな価値を見出せることを感じさせる事業である。

評価ポイント

- サイクリングやマラソンがコモディティ化してきている中で、多くの人に参加できるコンテンツとして面白い。
- 既存のインフラを活用して、新たなニーズを生み出している。
- 機具のレンタル等、初心者も利用しやすい点を評価。

スポーツ文化ツーリズムアワード2021 【スポーツツーリズム賞】入賞



(申請団体)

NPO法人ASO田園空間博物館（道の駅阿蘇）

阿蘇の草原を活用した『牧野ガイド』事業



取組概要

阿蘇の草原（牧野）を、管理者である牧野組合、観光業者やガイド、草原の保全活動を行っている各団体を結び付け、草原を持続的に維持しながら観光に活用する事業である。
具体的には、この事業を推進するために草原利用のルール作りを進めると共に、MTB、トレイルラン、トレッキング等の各アクティビティに特化したスキルを持つ「牧野ガイド」を育成。
この結果、アクティビティを行う少人数グループでの滞在型ツアー及び、修学旅行生を対象とした教育旅行ツアーを構築した。
この事業を通して、草原の維持と観光利用に加え、地域経済の活性化や交流人口の増加を目指している。



評価ポイント

- 将来性含め、全体を通して各項目がバランス良く、地域の取組体制や熱意もものすごく感じられる点を評価。
- ガイドが価値を提供しながら体験するというプログラムが良い。
- 自転車を使って普段は入れないところに入れるという特別感がある点を評価。
- 農業遺産やジオパークを活用している点を評価。

スポーツ文化ツーリズムアワード2021 【文化ツーリズム賞】入賞



(申請団体)

豊岡演劇祭実行委員会

豊岡演劇祭を契機とした文化観光推進事業



撮影協力：日高神崎観光協会



©三浦雨林



撮影協力：日高神崎観光協会



撮影協力：日高神崎観光協会

取組概要

豊岡市が進めている“深さをもった演劇のまちづくり”では、「演劇やダンスなど舞台芸術」を文化資源の中心に据えている。このリーディングプロジェクトである豊岡演劇祭は、城崎国際アートセンター、出石永楽館、江原河畔劇場等を主会場とした市全域で演劇公演を行いながら、地域の自立的なビジネスの活性化や新しいサービスの創出など、演劇祭を契機に市のまちづくりを推進。

将来的には日本に例を見ないフリンジ型演劇祭（招待公演以外に自主参加の公演も認める見本市機能を持つ演劇祭）とし、5年でアジアNo. 1、10年で世界有数の演劇祭を目指している。

評価ポイント

- 文化的テーマを、比較的地方の都市がコンセプトを持って取組をしていこうという部分を評価。
- 実績、運営体制もしっかりしている点を評価。

スポーツ文化ツーリズムアワード2021 【文化ツーリズム賞】入賞



(申請団体)

村上海賊魅力発信推進協議会

『村上海賊』の歴史を巡る文化ツーリズムの推進 ～パイレーツじゃない！日本の海賊 (KAIZOKU) 文化を世界に発信！～



取組概要

航海の安全を保証し、水軍や商人など様々な側面を持つ村上海賊は、日本固有の海賊 (KAIZOKU) 文化の代表的な存在である。魅力発信の具体的な取組として、SNSの活用、シンポジウムなど、しまなみ海道地域一帯で取組を実施。令和2年の日本遺産フェスティバルin今治では多くの来場者に日本遺産や村上海賊に親んでもらった。加えて村上海賊クルーズツアー等、サイクリストも多く訪れるしまなみ海道の歴史遺産をめぐるツアー構築を行い、スポーツ×文化×観光の連携事業に取り組んでいる。結果として、地域住民の地域文化への誇りや愛着が醸成されると共に、地域経済の活性化にも寄与している。

評価ポイント

- 伝統を踏まえた上で、地域との融合がしっかりなされている点を評価。
- 非常に地域に定着している。定着しているが故に、継続性ある取組になっている点を評価。
- 地域の様々な取組がプログラムの認知を高め、それがひいては来訪される観光客の方に対する広報に繋がる事例として評価。長く続けられるプログラムとしても秀逸。

